読むと出水のまちが♥好き♥になる

で みず がっ く

出水学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における 学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.







コロナ禍の中でも、安心して暮らし続けられるまちづくりが、 出水学区では行われています。

出水学区では今日も、3 密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。 今回は、出水住民福祉連合協議会 広報紙「出水だより」作成の現場を取材させていただきました。





◎「読んだ人に少しでもほっとして もらえるような『出水だより』 を目指して」

> 一「出水だより」は、今年8月に発行した第56 号にコロナ禍特集を掲載されました。



当初は4月初めの発行を予定していましたが、コロナ禍で私たちスタッフがなかなか集まれず、苦労しました。

学区民の中にも、集まりたいけれど集まれず、つらい思いや不安な思いをされた 人がたくさんいたと思います。



そこで、今回はコロナ禍の出水学区の動きがわかるような、読んだ人に少しでもほっとしてもらえるような「出水だより」を目指しました。

取材させていただいた日は、紙面構成について話し合われていました。

「学区や学校行事の動きなど、学区民の関心が高いことを記事にできないか?」



いいのか、何を優先するのか…夜遅くまで、議論が続きました。

「コロナ禍で困っている方がいて、私たちがフォローし

ないといけないことがたくさんある。そうしたことを

情勢が次々変わっていく中で、どこまで記事にしたら

記事にできないか?」

◎「若い人が力を発揮できる、やりたいことにチャレンジ出来る… そういう学区を目指したい」

一「出水だより」を作るうえで、大切にされていること・今後チャレンジしたいことはありますか?

昨年、印刷を白黒からカラーに変えた「出水だより」。 スタッフの方は「カラー化以降、読者からいろんな 意見をいただけるようになりました。何度も読んで いただける広報紙を目指したい」と話されました。



単なるまちづくり活動の報告記事だけではなく、出水学区民一人ひとりにまちづくりの空気を届けたい。そうすることで、出水学区に愛着がわいて『自分にも何かできないかな』と思う人を増やしたい。QRコードによる意見募集もその一つです。



若い人たちの中には、アイデアや技術のある人・学区の役以外でまちづくり活動をされている人がたくさんいる。若い人が力を発揮できる、やりたいことにチャレンジ出来る…そういう学区を目指したいね。

活動の内容は、コロナ禍の状況により 変更となる可能性があります。 最新の活動は上京区社協

(Tel:432-9535) までお尋ねください。

√ 反対側の面も、ぜひご覧ください! /



「出水だより」にはQRコードが掲載されていて、スマートフォンを使って読みこんでいただくと意見を送ることが出来ます。